

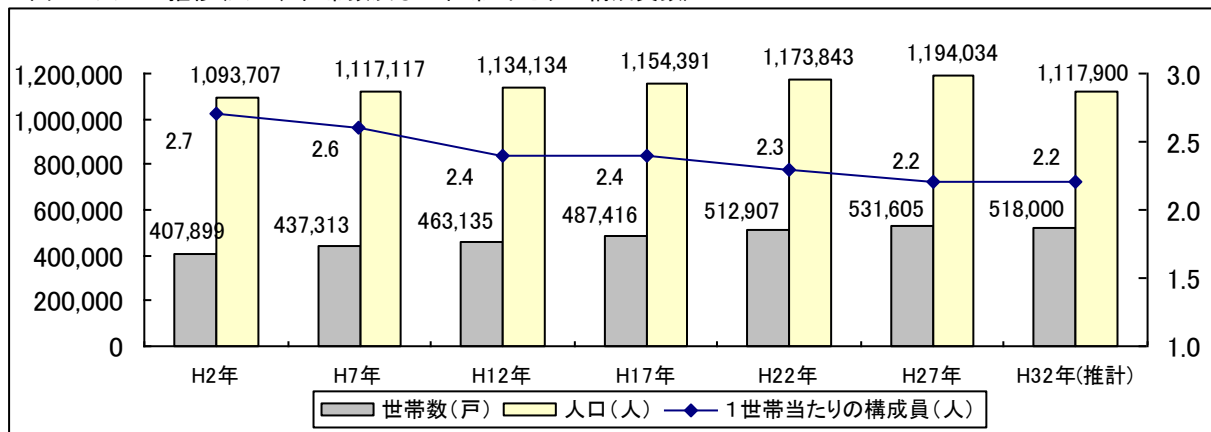
Ⅲ 中間評価の結果

1 人口動態等

(1) 人口・世帯数と高齢化の進展

本市の人口は平成 27 年 1,194,034 人、世帯数は 531,605 世帯と増加を続けているが、1 世帯あたりの構成員は、この 25 年間で 2.7 人から 2.2 人へと減少している。

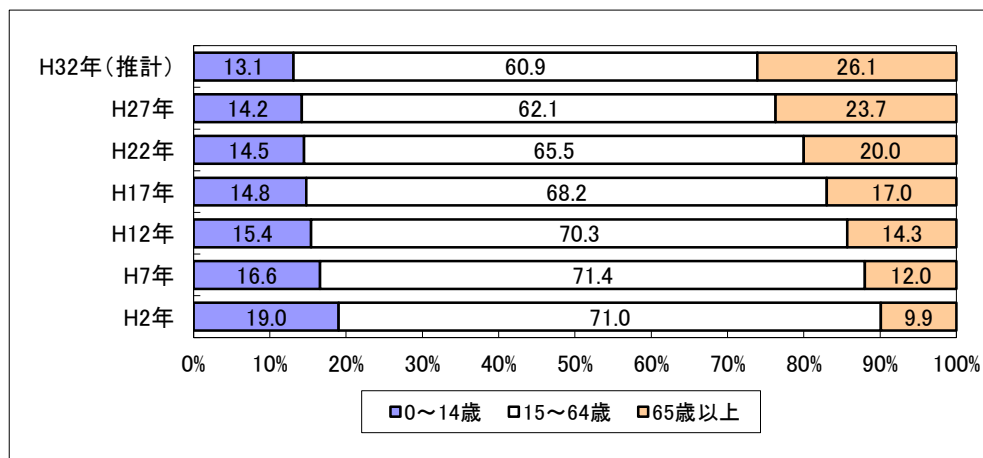
図 1 人口の推移(人口、世帯数及び 1 世帯当たりの構成員数)



出典：平成 2 年～平成 27 年：国勢調査、平成 32 年：第 5 次広島市基本計画

また、年齢 3 区分別の人口の推移をみると、老年人口(65 歳以上)の割合が増加し、年少人口(0～14 歳人口)及び生産年齢人口(15～64 歳人口)は減少している。

図 2 人口の推移(年齢階級別割合)



※表示の単位未満は四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しないことがある。

出典：平成 2 年～平成 27 年：国勢調査、平成 32 年：第 5 次広島市基本計画

(2) 健康に関する状況

ア 死亡原因

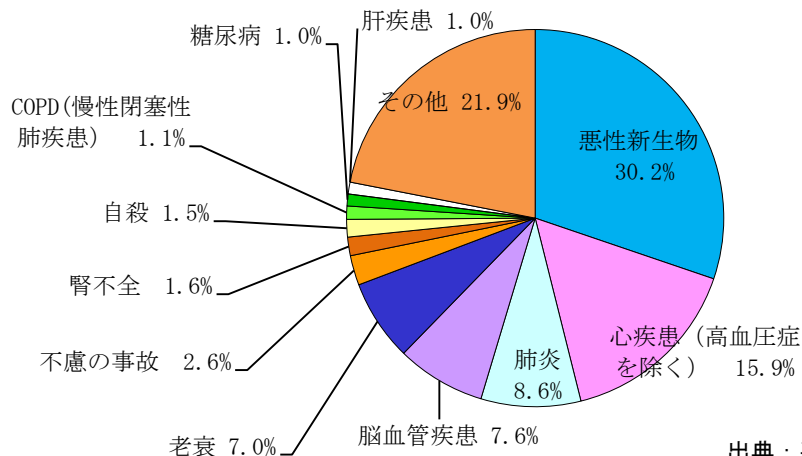
平成 28 年の全年齢における死亡原因は、悪性新生物、心疾患（高血圧症を除く）、肺炎、脳血管疾患、老衰の順となっている。平成 22 年と比較すると、老衰が 3.5%から 7.0%と 2 倍に増えている。悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が死亡原因の約 54%を占めている。

表 1 死因別死亡数とその割合(全年齢)

順位	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位			
全体	悪性新生物	心疾患(高血圧症を除く)	肺炎	脳血管疾患	老衰	不慮の事故	腎不全	自殺	COPD(慢性閉塞性肺疾患)	糖尿病	肝疾患	その他	合計
人数	3,007	1,580	851	760	693	254	158	150	113	101	101	2,183	9,951
割合	30.2%	15.9%	8.6%	7.6%	7.0%	2.6%	1.6%	1.5%	1.1%	1.0%	1.0%	21.9%	100.0%

出典：平成 28 年人口動態統計

図3 死因別死亡割合(第10位まで)



出典：平成28年人口動態統計

イ 本市における3大死因の男女別年齢調整死亡率の推移

本市の悪性新生物及び脳血管疾患の年齢調整死亡率は男女ともに減少傾向にある。虚血性心疾患の年齢調整死亡率は、平成22年は男女とも平成17年に比べ増加しているが、平成27年は減少に転じている。

表2 3大死因の年齢調整死亡率の推移

		H17年	H22年	H27年
悪性新生物	男	202.4	179.6	157.3
	女	93.0	90.9	81.2
虚血性心疾患	男	32.8	42.3	33.2
	女	13.5	18.1	12.8
脳血管疾患	男	52.5	40.8	31.5
	女	33.2	19.3	17.7

出典：人口動態統計

ウ 要介護認定者数の推移

高齢化の進展により、本市における要支援・要介護認定者数は増加しており、団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年(平成37年度)には、76,275人の見込みである。

図4 要支援・要介護認定者数の推移

